

輝け！未来のアスリート

令和2年11月17日（火）、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた東京都の「輝け！未来のアスリート」事業の一貫として、卓球ワールドカップ等で活躍された森蘭美咲選手が本校を訪問し、生徒たちと交流しました。



森蘭美咲選手は、東京都西東京市出身で、中学、高校と青森の学校に通い、毎日卓球の練習に明け暮れた生活を送っていたそうです。現在も選手兼指導者として活躍されています。

ビルクリーニングコース訪問



森蘭選手がビルクリーニングコースの授業を参観しました。ビルクリーニングコースでは、生徒たちは清掃技能検定の練習に取り組んでいました。コースで学んだ内容を説明しながら、技術を披露してくれた生徒に対し、森蘭選手からは、「学んだことをすぐ実践できてすごいですね。」とお褒めの言葉をいただきました。

福祉コース訪問



福祉コースでは、森蘭選手に実際に車いすに乗ってもらい、日頃の練習の成果を披露しました。「左に曲がります」「今日はいい天気ですね」と生徒が声をかけたことに対し、森蘭選手からは、「車いすに乗るのは初めてです。車いすに乗ると操作する人は声をかけてくれるのですね。実際の現場みたいです。」といった感想をいただきました。

食品コース訪問



食品コースでは、接客の学習した成果を体験してもらいました。まだ企業でのインターンシップを経験していない1年生でしたが、緊張しながらも、一生懸命に接客しました。森菌選手は、「実物の喫茶店なんですね。学校に喫茶店があるなんてすごいです。」と感動されていました。

ロジスティクスコース訪問



ロジスティクスコースでは、封筒の封入作業の学習について、自主的に生徒が説明しました。なにも見ずに、ロジスティクスコースの内容を説明してくれた生徒に対し、森菌選手は驚いていました。見学後、「私だったら、絶対恥ずかしくて前に出られません。」と一言。感心しておられました。

3年生 保健体育



森菌選手の自己紹介のあと、質問コーナーを設けました。「部活動の試合前に気落ちをしてしまうことがあるので、モチベーションを維持するためにどうしたらよいですか。」との生徒の質問に対して、森菌選手は「私は何も考えないようにしています。」と回答。強靱なメンタルの持ち主であることに一同、驚きました。



卓球の実演・指導の場面では、生徒たちは今まで見たことのない大きく変化するサーブに、はじめは全く打ち返すことができませんでした。

しかし、頑張って打ち返すことに成功する生徒も出てきて、周囲から歓声が起きました。森蘭選手と一緒に、大いに盛り上がりました。



授業の最後に、食品コース所属の生徒たちから自分たちが製造した焼き菓子をお菓子に森蘭選手にプレゼントをしました。森蘭選手は、この後、控え室で実食し、「とても美味しいです。もっと食べたいです。」と言われました。

部活動（卓球部）指導



森蘭選手から、初心者は構え方などの基礎・基本を教えてくださいました。卓球の都大会に出場している生徒は技術向上を目指すための指導をしていただきました。卓球部の生徒にとっては、貴重な機会を得て、今後の練習の目標を見つけることができました。



今回、森蘭選手との交流を通して、来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、生徒たちの卓球への関心が高まりました。そして、スポーツそのものも素晴らしい実感することができました。

最後に森蘭選手からは、本校の生徒の一生懸命さに触れつつ、「ここから未来のパラアスリートが出るかもしれませんね。」とのメッセージをいただきました。本当にありがとうございました！